

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム(大阪 HITEC)

大阪 HITEC NEWS

vol.16

令和2年2月発行

新ロゴマーク誕生！！

令和元年6月14日の総会において新ロゴマークをお披露目しました。



ロゴマーク(横型)



ロゴマーク(縦型)

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの社会的な認知度・ブランド力を高め、ヒートアイランド対策技術を広く発信するために次のコンセプトで新ロゴマークを作成しました。

- ・イニシャル「HI」を暖色から寒色のグラデーション(変化)により表現
- ・「HI」はビルシルエットをイメージ
- ・略称ロゴは、シャープなイメージ(技術力)を持つゴシック体をオリジナルでデザイン
- ・HITECをハイテック(ハイテク)と誤認しないよう、ルビを付した



認証ロゴマーク(横型)



認証ロゴマーク(縦型)



(参考)旧認証ロゴマーク

また、関連して、認証ロゴマークについても改定しました。

なお、旧認証ロゴマークについては、パンフレットなどの広報媒体で現在使用中のものもあることから、当分の間使用することができます。

今後も引き続き、大阪 HITEC の認証技術の普及および発展に向けて取り組んでいきます。

ヒートアイランド適応策導入に向けたWG横断勉強会(拡大版)を開催

▽開催日 令和元年6月14日(金) 15:00~17:00

▽場所 リンク大阪

近年、地球温暖化やヒートアイランド現象に対する適応策について注目が集まっております。大阪HITECでは、WG横断勉強会を設置し、これまでの緩和効果に加えて適応都市の具体像について議論を進めてきました。

「ヒートアイランド適応策導入に向けたWG横断勉強会(拡大版)」では、これまでの議論の内容を会員の皆様に報告し、広く意見交換を行うとともに、大阪HITECの今後の活動の方向性について議論を深め、会員同士の交流を図りました。

- 開会
森山 正和 理事長 (神戸大学名誉教授)
- 趣旨説明と横断勉強会の経過
- 報告「適応策メニューの整理」
竹林 英樹 WG主査 (神戸大学大学院准教授)
- 報告「適応都市の具体像の検討」①
増田 昇 WG主査 (大阪府立大学特認教授)
- 報告「適応都市の評価方法の検討」
吉田 伸治 氏 (奈良女子大学大学院准教授)
- 報告「適応都市の具体像の検討」②
榎元 慶子 氏 (大阪市立環境科学研究センター研究員)
- 議論「今後の大阪HITECとしての取り組みの可能性」
森山 正和 理事長 (神戸大学名誉教授)
- 閉会
吉田 篤正 副理事長 (大阪府立大学大学院教授)



当日のプログラム



当日の様子

ヒートアイランド対策技術公開セミナーを開催

▽開催日 令和元年7月27日(土) 13:10~16:50

▽場所 大阪科学技術センター

セミナータイトル：都市環境の気候変動適応策「ヒートアイランド対策の最前線」
～猛暑対策における技術とまちづくり～

地球温暖化やヒートアイランド現象により生じる健康影響を軽減するため、省エネ等の緩和策と快適なまちづくり等の適応策が注目されています。

本セミナーでは、これらの最前線の情報を森山理事長はじめ理事や、専門家が詳しく解説しました。当日は、あいにく台風による悪天候でしたが、たくさんの方にご参加いただきました。

プログラム

13:10~13:30

◆ 開会あいさつ
◆ 大阪HITECの紹介
理事長 森山 正和 氏
(神戸大学名誉教授)

13:30~13:50

◆ 大阪の猛暑の実態
榎元 慶子 氏
(大阪市立環境科学研究センター 研究員)

13:50~14:10

◆ 猛暑に対する大阪府の取組み
田村 友宣 氏
(大阪府エネルギー政策課 課長補佐)

14:20~15:00

◆ 特別セッション
～猛暑対策の技術と認証制度～
① 高日射反射率塗料・屋根材・舗装・防水シートについて
副理事長 吉田 篤正 氏
(大阪府立大学大学院教授)
② 保水性舗装について
WG幹事 西岡 真稔 氏
(大阪府立大学大学院教授)
③ 外断熱について
WG主査 芝池 英樹 氏
(京都工芸繊維大学准教授)
④ 再帰性高日射反射率外壁材・フィルムについて
WG幹事 木下 進一 氏
(大阪府立大学大学院准教授)

15:05~15:25

◆ 猛暑対策まちづくりの枠組み
WG主査 竹林 英樹 氏
(神戸大学大学院准教授)

15:25~15:45

◆ 猛暑対策まちづくりの実践
理事 増田 昇 氏
(大阪府立大学名誉教授・植物工場研究センター長)

15:45~16:05

◆ 討論とまとめ
◆ 閉会あいさつ
理事 西村 伸也 氏
(大阪府立大学大学院教授)



当日の様子

参加者と講演者との意見・情報交換のためのアフターブレイク



終了後は、認証製品を紹介したポスターの展示場所で、参加者と講演者との意見・情報交換のためのアフターブレイク(茶話会)を開催し、大盛況のうちに終了しました。

ご参加いただいた方からもたいへん好評でした。

クールスポットエンジョイウォークを開催

▽開催日 令和元年7月31日(水) 14:00~17:00

▽場所 なんば周辺

毎夏恒例行事となったクールスポット体感説明会。今年度は、大阪府と共催で、大阪市、南海電気鉄道(株)、難波センター街商店街振興組合にご協力いただき、一般参加者も含め約20名の参加のもとで、開催しました。

都市デザインWGの鍋島幹事(大阪市立大学教授)が中心となり暑さ指標(WBGT)が測定され、参加者と測定の体験を行っていただきました。あわせて、環境省事業の「なんば周辺クールスポットの体感温度改善効果の計測」が行われました。(この活動は、大阪HITEC発足以来、初の外部資金獲得の事業となりました。)

当日、参加者は、とんぼりリバーウォーク、湊町船着場、難波センター街商店街、道頓堀商店街を巡り、専門家の指導による計測体感、ヒートアイランド対策製品の効果の確認などを行いました。主な計測機器として、WBGT計、アメニティメーター、連続測定装置、サーモカメラなどを使用しました。

～計測終了後の専門家の解説の紹介～

- WBGTが30℃を超えると暑いと感じ、28℃とは体感の違いを感じることができる。
- 大阪の水路沿いは、西風が通る「風の道」と言われており、とんぼりリバーウォークは植樹帯や日よけ・ベンチを増やし、クールスポットとして活用できる。
- クールスポットがさらに増えれば魅力ある都市になることができる。



当日の様子

※ご協力いただいた企業とヒートアイランド対策製品(五十音順、敬称略)

(株)オズワーク

: フラクタル日よけ『金属フラクタル』

東洋紡STC(株)

: 保水・保冷パネル『アースキーパー』

日本ペイント・インダストリアルコーティングス(株): 『遮熱性舗装『ATTSU-9ROAD(U)』、

東レ(株) (大阪府エネルギー政策課より紹介)

: 遮熱・遮光生地『サマーシールド』

日本ヒートアイランド学会に出展



当日の様子

▽開催日 令和元年9月20日(金)~22日(日)

▽場所 東京大学柏キャンパス

日本ヒートアイランド学会第14回全国大会が開催されました。大阪HITECもブースを出展し、最近の主な取組みの紹介、認証技術と製品のPRを行いました。

昨年に引き続き、大会を通じて大阪HITECの活動を全国の研究者や企業の方に知っていただく機会となったことは大きな成果となりました。

万博関連 アイデア提案書提出

▽提出日 令和2年1月31日(金)

万博会場で実現したい「未来社会(技術・サービス)」アイデア提案書を、(公社)2025年日本国際博覧会協会 People's Living Lab促進会議アイデア募集事務局に提出しました。

ELSEVIER社より「Adaptation Measures for Urban Heat Islands」書籍の出版

▽出版予定 令和2年4月

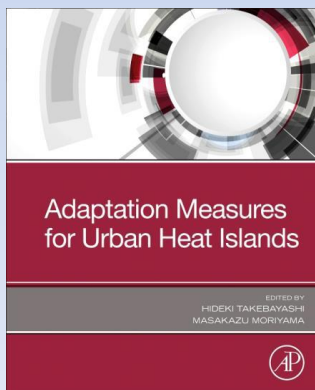
本コンソーシアムの活動の一環としてWG横断勉強会を主宰した竹林先生と森山理事長の編集により、ELSEVIERから7章構成の「Adaptation Measures for Urban Heat Islands」が出版されます。

目次

構成する7章は以下のとおりです。

- 1章 Background and purpose
- 2章 Adaptation measures and their performance
- 3章 'Hot spot' adaptation measures
- 4章 Case studies of adaptation cities
- 5章 Evaluation methods of adaptation cities
- 6章 The role of local government and governance
- 7章 Summary

(ISBN : 978-0-12-817624-5)



理事会・総会

平成30年度の活動報告・令和元年度の活動方針を承認



総会

▽開催日 令和元年6月14日(金)

理事会 13:30~13:45

総会 14:00~14:45

理事会

▽場所 リンク大阪



平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画(案)・収支予算(案)、理事・監事の選任(再任)、平成30年度の猛暑を踏まえた暑さ対策についての提言(案)、大阪府との連携協力に関する協定書(案)が承認されました。

なお、提言は6月14日に大阪府に送付し、協定書は6月25日に締結しています。

企画運営委員会

平成30年度のWGの進捗状況の報告等

▽開催日 平成31年3月13日(水) 10:00~11:45

▽場所 大阪市立総合生涯学習センター



企画運営委員会

令和元年度の活動方針・総会の議案を検討

▽開催日 令和元年5月23日(木) 13:30~16:30

▽場所 リンク大阪

その他の会議

委員会名	議事内容	開催日
臨時理事会※	1. 会則の変更について 2. 理事の選任について 3. 事業計画及び収支予算の変更について	令和元年 9月19日(木)
臨時総会※	1. 会則の変更について 2. 理事の選任について 3. 事業計画及び収支予算の変更について	令和元年 10月4日(金)
認証制度運営委員会※	1. 「ヒートアイランド対策技術認証制度ロゴマーク使用要領」の変更について	令和元年 11月5日(火)

※書面による開催

ワーキンググループの開催

WG名	開催日	開催場所
第35回都市デザインWG	平成31年 4月 3日(水)	大阪市環境局
第36回都市デザインWG	令和 元年 6月19日(水)	大阪市環境局
※クールスポットエンジョイウォーク (クールスポット体感説明会) 内容:P4参照	令和 元年 7月31日(水)	なんば周辺
第37回都市デザインWG	令和 元年 12月10日(火)	リンク大阪
第38回都市デザインWG	令和 2年 2月21日(金)	大阪市環境局
第6回 WG 横断勉強会	平成31年 4月 3日(水)	大阪市環境局
※WG横断勉強会(拡大版) 内容:P2参照	令和 元年 6月14日(金)	リンク大阪
第7回 WG 横断勉強会	令和 元年 11月26日(火)	大阪市環境局
第8回 WG 横断勉強会	令和 2年 1月20日(月)	大阪市環境局
第43回熱有効活用・人工排熱低減WG	令和 2年 1月31日(金)	大阪市環境局

※WGに関連した催事



第6回 WG 横断勉強会の様子

WGの詳細は会員用ホームページをご覧ください

<http://www.osakahitec.com/member/>

(閲覧には、ID、パスワードが必要ですので、事務局までお問合せください)

令和元年度のワーキンググループ事業計画

各部会ワーキンググループでは、それぞれのテーマについて取組を実施しました。

素材関連ワーキンググループ

(反射、遮熱、断熱等に資する素材の研究、具体的活用の提案)

米国ローレンスバークレー研究所ヒートアイランドグループが主催する Cool Building Solutions for a Warming World working group の活動状況を把握し、連携の可能性を検討する。

熱有効活用・人工排熱低減 ワーキンググループ

(潜熱化、排熱利用、省エネ・新エネ・代エネ技術(ESCO含む)による対策手法の調査、活用)

- ①人工排熱の大気熱負荷削減効果の推奨制度の確立
 - 1) 空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果及び熱汚染対策効果の推奨方法
 - ・空冷空調機用排熱低減対策装置の調査
 - ・蒸発量データ等による大気熱負荷削減効果の検証方法の確立
 - ・排気温度調査等による熱汚染対策効果の検証方法の確立
 - ・推奨範囲(推奨対象、期間など)の設定
 - ・ピーク電力削減効果
 - ・温暖化対策効果の関連性調査
 - 2) 人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術を対象にした大気熱負荷削減効果の推奨方法
 - ・人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術の調査
 - ・河川水・海水利用、地中熱利用に関する経験を有する新たなWGメンバーの選定
 - ・運用データを用いた大気熱負荷削減量の効果の検証方法の確立
 - ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価
 - ・人工排熱を大気以外の媒介に処理する技術の設計段階における効果推奨方法の検討
 - 3) 大気の直接冷却技術の調査
 - ・空気熱源ヒートポンプ、冷却塔、水噴霧な

- ど大気を直接冷却する技術の調査
 - ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価
 - 4) 推奨制度の確立
 - ・設計段階と運用段階での制度確立
 - 5) ZEB・ZEHにおけるヒートアイランド対策効果の評価手法の検討
- ②熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報
- ・学術研究者や会員を講師にした関連技術等の話題提供や情報交換を行うとともに、情報収集、文献調査を実施する。
 - ・近年、温暖化対策への取組が強化され、住宅や業務用建物に対してZEBやZEH等によるエネルギー消費削減と再生可能エネルギーの導入に対する取組が強化されている。この取組がヒートアイランド対策にどのような影響を与えるか総合的な検討を進めるため、ゼネコン業界、エネルギー業界、自動車業界、住宅・ハウスメーカーの関係者と情報交換を行うとともに、情報収集を実施する。

クールスポット創造技術手法 ワーキンググループ

(緑化、水活用(噴霧、散水)等技術手法の研究、具体的活用の提案)

- ①緑化技術に関する情報収集や事例見学会等を行う。
- ②平成26年度に作成した簡易測定装置により、測定依頼があった場合、実際の屋上等の施工現場で実測を行い、屋外現場での装置の測定性能評価を行う。
- ③水を活用した道路を冷ます技術や、保水性資材を用いた温度低減効果など新たな技術についての情報収集を行う。
- ④随時、緑化技術をはじめとした様々なクールスポット創造技術に関する情報交換、及び他のWGとの情報交換を行う。

熱負荷評価手法ワーキンググループ

(熱負荷削減評価手法の検討)

引き続き、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関する WUFI Pro を主力シミュレーションツールに据えて、入力パラメータの調整や入力条件の整備等についての検討を行う。

都市デザインワーキンググループ

(地域における「あるべき都市デザイン」の検討・提言)

- ①クールスポット・クールロード 100 選や過去のアイデアコンペの成果を用いたワークショップを実施し、WG横断的勉強会での新たな対策技術、特に適応策への貢献や新たなライフスタイルのあり方等を検討する。
- ②啓発活動の一環としてクールスポット・クールロードの現地研修会を実施し、その際、暑熱環境等の計測技術を講習するとともにHITEC会員企業のヒートアイランド対策製品の効果確認とPRを実施する。
- ③大阪府クールスポット 100 選（平成 24 年夏実施）及び大阪府クールロード 100 選（平成 27 年度夏実施）のホームページを継続しつつ、新たな情報発信の手法について検討する。

ヒートアイランド適応策導入に向けたWG横断勉強会

- ①執筆内容の情報交換を行い、執筆作業を進める。
- ②拡大横断勉強会で執筆内容を紹介し、議論の結果を必要に応じて執筆内容に反映する。
- ③拡大横断勉強会において、今後の大阪HITECとしての取り組みの可能性について議論を行い、その結果を踏まえて今後の活動方針を検討する。

大阪HITECの会員区分・年会費

- 法人会員（議決権1口につき5票）50,000円/1口
- 個人会員（議決権1口につき1票）
 - ・企業に勤務する個人 10,000円/1口
 - ・大学、試験研究機関、行政機関、
公的機関に勤務する個人 5,000円/1口
 - ・学生 1,000円/1口

※ 年会費納付のご案内の際に、毎年、会員のご連絡先（担当者）について、確認をさせていただいておりますので、ご協力のほど、あわせてお願いいたします。

※大阪HITECは随時会員募集を行っています。

詳細な入会案内については、大阪HITECのホームページをご覧ください。

◆◆◆大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの構成メンバー◆◆◆

【法人】アーキヤマデ株式会社、株式会社いけうち、株式会社エスシーエイエヌ、大阪ガス株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、ケイミュー株式会社、住ベシート防水株式会社、太陽エコブロック株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社大高商会、大日化成株式会社、株式会社竹中工務店、テクセリアルズ株式会社、東洋紡STC株式会社、日新工業株式会社、株式会社ベルテック、美濃焼クールアイランドタイル振興会

（以上 18法人、五十音順）

（令和2年1月現在）

【個人】15名

【オブザーバー】大阪府、大阪市

以下の大学の教員、名誉教授等の学識経験者が、活動に参画されています。

大阪大学、大阪工業大学、大阪市立大学、大阪府立大学、関西大学、京都工芸繊維大学、神戸大学
（五十音順）

発行/大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局

〒583-0862 羽曳野市尺度442

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所内

TEL:072(979)7062 FAX:072(956)9790



URL:<http://www.osakahitec.com>